

タイトル (活動概要)	92 みんなで協力 なかまをみつけよう	アプローチ (関連する力)		「仲間づくり」 ⑤ ⑧ ⑨ ⑭	
タイミング (実施時期)	クラスの友だちがわかり 始めた頃	活動 場所	教室	所要 時間	45分
対象学年	幼・ <input type="checkbox"/> 小低・ <input type="checkbox"/> 小中・小高 中1・中2・中3・高	対象 規模	学級	活動 場面	特別活動
活動の ねらい	<p><背景>群れあい体験が少ない状況で育つ子が多く、周りの友達への感心を育てる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールに従って、集団で遊ぶ楽しさを体験する ・自分と共通することを見つけた喜びを味わう ・友だちに温かい声かけができるようになる 				
準備	・「絵」カード（資料参照）各種類5～6枚ずつ7～8種類用意、箱の中に入れておく				
学 習・活 動		支援の観点・留意点等		資料等	
1 導入					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 言葉を使わないで、協力して仲間を見つけよう </div>					
2 主活動 ○やり方を知る ・全員が箱の中から、カードを1枚ずつ引く ・合図があるまで、自分にも友達にも見えないようにしておく ・「一言もしゃべらない、声を出さない」という約束で、部屋の中を歩いて、同じカードを持つ仲間を見つける ・仲間が見つかったら、座って待つ ・合図でカードを見せ合い、答え合わせをする ○仲間みつけをする ○指導者が、どのような方法で仲間を見つけたのかを、全部のグループにインタビューをする		・ねらいが「約束を守る・協力」にあることを伝える ・仲間が見つけれなかった児童や間違えた児童へ、他の児童から声をかけることをうながす		「絵または言葉」カード 箱（中央に穴があき、中のカードを取り出せるようにしておく）	
3 ふり返り ・感じたことをグループで話し合い、クラス全体でふり返る ・仲間に感謝を伝える		・仲間を見つけるためにどんなくふうをしたか、見つかったときの気持ちはどうだったかなど、ふり返りの視点を示す			
配慮事項	・学年によって動物や乗り物など動作化し易いものから、感情（例 泣く・笑う・怒る）さらに抽象的な表現（迷う・困る・協力・などにかえてもよい） ・絵カードを友達の背中につけ、自分が知らない状態でゲームを行うのもよい				